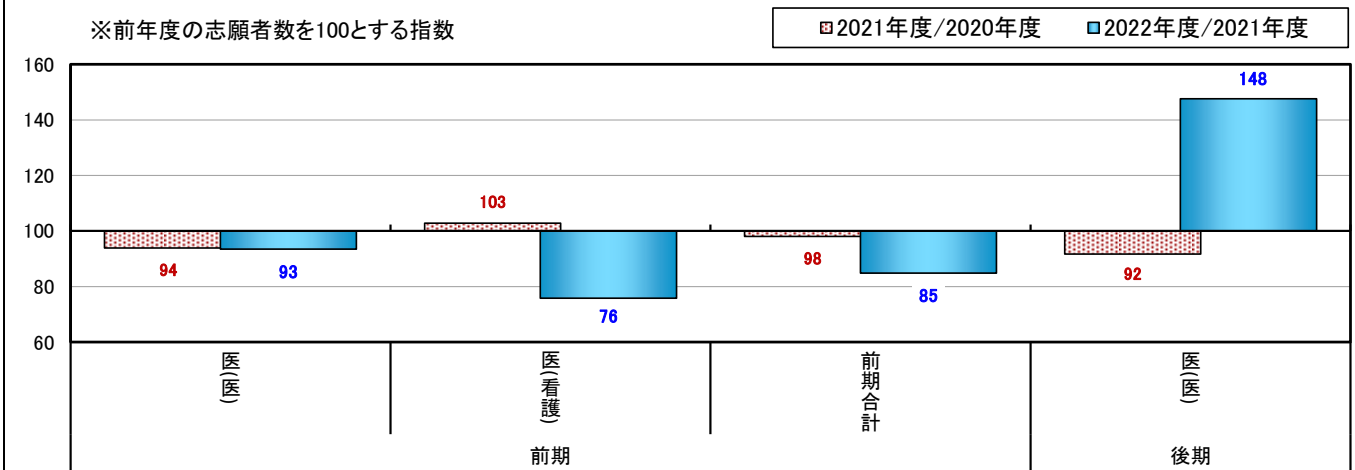


**奈良県立医科大：医(医)は前期はやや減少、後期は大幅増加 前期：-45人 後期：+423人**

**COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数**

前期は、医(医)は10人(93)のやや減少で3年連続減少、医(看護)は35人(76)の大幅減少。後期は、医(医)のみの募集だが、423人(148)の大幅増加。前年度減少の反動と個別試験重視型の配点、さらに近畿地区で唯一の後期募集の医(医)ということで、前期上位大学志願者からの併願先として狙われた結果、志願者数は5年ぶりに1,300人を上回り、志願倍率も25倍近くにアップした。

**<前期日程>**

- 医(医) (93)は、やや減少で3年連続減少。志願倍率も7.0倍→6.5倍にダウン。募集人員が65人→22人となった2013年度以降では、初めて志願者数が150人を下回った。
- 医(看護) (76)は、大幅減少。共通テスト：個別試験が700点：200点という共通テスト重視配点で、しかも個別試験が小論文+面接と教科試験がないことで、共通テストの平均点ダウンの影響を大きく受けた。募集単位別では、<一般枠>(70)は前年度増加の反動もあって大幅減少、志願倍率は2.6倍→1.8倍にダウンし、5年ぶりに2倍を下回った。<地域枠>(93)は前年度減少に引き続きやや減少で2年連続減少。志願者数は4年ぶりに40人を下回った。